

官製談合防止法の制定へ官業に制度組み立てる

山口 周三専務理事に聞く

官製談合防止法（入札談合等関与行為の排除及び防止に関する法律）が1月6日、施行された。公正取引委員会が談合事件を調べる過程で、発注官庁の職員関与が明らかになれば、改善措置を要求。発注側はその結果報告と関与した職員に損害賠償請求するなど、「談合は業界の問題」としてきた不公平が是正される。「談合根絶に向け発注者の責任を明確にし、意識改革を促す狙い」（公取委）をどう受け止めるべきか、発注側だけでなく、受注者である業界側も意識改革が求められている。独占禁止法順守をはじめ建設業界の適正な取引へ全国で講習、急速な環境変化に理解を促す建設業適正取引推進機構の山口周三専務理事に新法への注意事項を聞いた。



山口 周三専務理事

公共工事の発注機関の職員が談合に關わることを禁止する「官製談合防止法」が議員立法で

14年7月に成立、6日から施行されたが、その背景は、

現行の独占禁止法では、

平成13年に与党3党によるプロジェクトチームが作られ、各界からのヒアリングなどで前段の議論があり、法制化へ急速に議論が詰められたわけ

で、「発注者が襟を正す」という意味で、国、地方公共団体や公

公社など134法人を対

部規則の見直しや職員へ

官廳職員の談合関与

発注機関は損害賠償請求

名業者リスト等の漏えいが公正取引委員会の改善措置の対象となる入札談合関与行為になります。

は調査の結果、「談合等に關与した職員に対し、発注機関が「損害賠償を請求せねばならない」ことです。公共工事で発注機関が「損害賠償を請求されますし、懲戒处分など厳正な姿勢で臨むなど、これまでのような感覚ではないことを十分に周知してもらいたい。

官僚の意識改革が求められてくる。政治では、国会議員の私設秘書も含めてあっせん防止（あっせん利得処罰法）の強化が図られ、官庁には公共工事入札契約適正化法が制定され、公共事業に対する口利用が介入に対処する仕掛けがしてきた。官製談合防止法は、官だけ見逃し、業界だけを悪者としない

事が、全くないというようなケースもあるわけですが、また最近、首長が予定価格を漏らすケースが

北海道岩見沢市の官製談合事件で見られるように、代々前任者から引き継ぎ、職員自身に悪いという意識が、全くないというふうなケースもあります。また、新たに

「競争原理は必要だが、競争ではなく、地域優位で処罰するといったこれまでの枠でなく、官側の官製談合関与行為にも公正取扱いが評価された上で、競争力が評価された上で、競争原理ではないのでしょうか。

一方で、横須賀市では独自の入札方式で話題になってるが、横須賀市では独自の入札方式で話題になっています。

山口周三氏（やまぐちよしお）、昭和39年4月建設省入省、63年7月日本下水道事業企画総務部長、平成4年1月国土厅長官官房審議官、同年8月立体道路推進機構常務理事、9年5月海外建設協会常務理事、13年11月から現職。

発注担当者向けに示す 官製談合防止法Q & A作成

木 蔭 長坪 正樹

オオクワガタ



オオクワガタを「存知だろ？」か？ 子供達の間でも特に人気のあるクワガタムシの一種で、「黒いダイヤモンド」と呼ばれていたこともある。その名のとおり、数年前の夏には体長80ミリのオスが1匹数百万円で売れたことのあるニュースが話題になったことがある。しかし、クワガタ市場も価格破壊が進んでいて、数千円でかなりの大型個体を入れることが可能になってきた。なぜこのような状況になったのか。その大きな要因となつたのは、ブリーディング技術の発達による方法が確立されたことと、需要に対する供給量が圧倒的に少なかつたのである。それがブリーダーによつて多

進歩である。かつてオオクワガタの生態はよく知られておらず、また、他種に比較して元々個体数が少ないので自然界で採集することは非常に困難であつた。さらにブリーディング技術も確立しておらず、需要に対する供給量が圧倒的に少なかつたのである。それがブリーダーによつて多

数の幼虫を生ませ育てており、現在の価格破壊となつて需要量が増大し、供給が追いつかない。そこで、この方法が確立されたことと、需要量が増大したことがあげられる。個人的にも、オオクワガタの飼育・採集を行うようになつてから、

たいのは、このブリーディング技術の進歩にはブリーダーの自然に対する関心・理解が不可欠だったという事である。具体的な例として、キノコの一種であるカラタケが発達した木には大きな幼虫

身の回りの自然についてより考えを巡らせれるようになったと感じる。

ところで、このオオクワガタ、意外にも鹿児島では最近その生息が確認されていない。

あまり気候的差違の無い宮崎県や熊本県には生息しているのに、

あちこちで、公式なデータとしては

30年前に霧島で見つかったのが最後だそう

だ。生理的にやや冷涼な気候を好むからだと

いうより、生息に適した樹林が少なくなったのが一番の原因だと聞

察から、幼虫を大きく育てる工夫が開発された。これがあげられる。個人的にも、オオクワ

ガタの飼育・採集を行うようになつてから、

地課技師

国土交通省など公共調達省庁と公正取引委員会で構成する関係省庁連絡会は、6日に施行した入札談合等関与行為の排除および防止に関する法律（官製談合防止法）の運用についてのQ&Aをまとめた。何が「入札談合関与行為」なのかを発注用に分かりやすく示して入札手続きを円滑に進めるためのもので、関係する独立行政法人や特殊法人のほか、総務省を通じて地方公共

が確認されても、職員が

相手方として希望する意向を表示・示唆の入札・

「事業者との接觸では無用な誤解を生じないよう細心の注意を払う必要がある」と指摘するなど、別途Q&Aとして作成する予定だ。

お手軽で便利な購読料のお支払いは
[自動振替で]
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ

略

歴